

2025.5.19



熊本県における農業 外国人材受入支援 ～特定技能2号試験～

熊本県農林水産部生産経営局
担い手支援課 橋本直樹

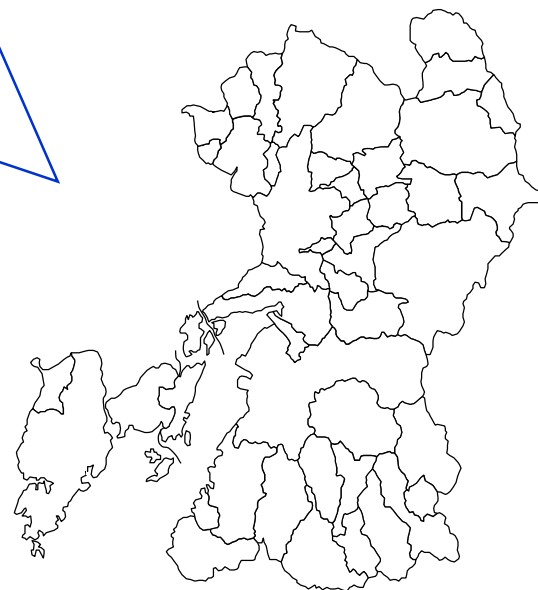
本県農業の概要

全国有数の農業県

本県の農業産出額は3,757億円。全国5位、九州2位。

都道府県別農業産出額 (R5)

順位	都道府県	農業産出額 (億円)	全国 シェア
1	北海道	13,478	14.1%
2	鹿児島	5,438	5.7%
3	茨城	4,571	4.8%
4	千葉	4,029	4.2%
5	熊本	3,757	3.9%
6	宮崎	3,720	3.9%
7	青森	3,466	3.6%
8	愛知	3,207	3.4%
9	岩手	2,975	3.1%
10	栃木	2,959	3.1%
-	全国	95,582	-



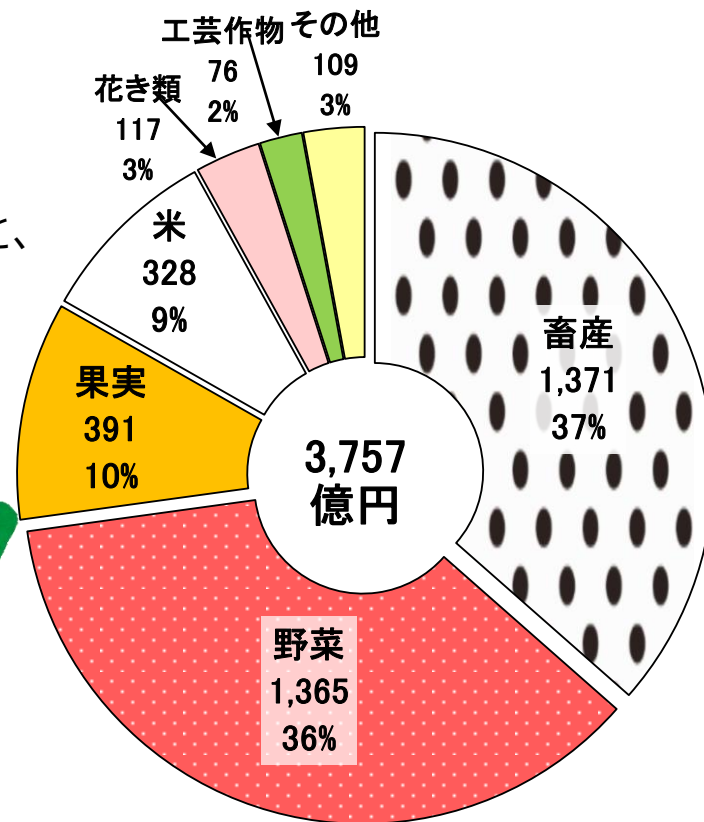
(資料) 農林水産省「生産農業所得統計」

「食のみやこ熊本県」へ！熊本の農林畜水産業

バランスのとれた農業生産構造

畜産1,371億円、野菜1,365億円、その他で1,021億円と、約1/3ずつを占めており、バランス良く多彩な営農が特徴。

部門別産出額の割合 (R5)



熊本の農林畜水産物は全色そろってるモン



施設園芸日本一

**施設面積、加温面積ともに全国の1割を占めており、全国1位。
平坦地域から高冷地まで周年でリレーできる施設園芸産地を形成。
⇒ 食料生産基地として重要な役割を果たしている。**

R4	熊本県 (ha)	全国 (ha)	全国に占める割合
施設面積	3,274	37,894	8.6% (全国1位)
加温面積	1,865	16,647	11.2% (全国1位)

資料) 農林水産省 園芸用施設の設置等の状況 (R4)



担い手確保・育成

- 就農希望者に対し、相談・研修・就農・定着の各段階においてきめ細やかな支援を実施
- 経営継承の推進、農福連携、外国人材の活用などの多様な担い手確保の取り組みを推進



認定農業者数	9,906経営体（全国3位）	R5.3月末時点
認定新規就農者数	535人（全国1位）	R4.3月末時点
農業法人数	1,098経営体（全国3位）	R5.3月末時点
基幹的農業従事者の平均年齢	66.2歳（全国より2.5歳若い）	R5.2.1時点

食のみやこ熊本県の創造

- 豊かな食文化を活かした高付加価値化で、稼げる農林畜水産業を実現 -

(1) 農業で稼げる熊本県の実践

- 「食のみやこ熊本県」を創造
- 農地を保全し、営農継続を支援

(2) 食育

- 地産地消の学校給食を利用して「くまもと食育戦略」を推進
- 農業・漁業・牧畜体験、森林環境教育と「こどもからの関係人口」の推進

(4) 農林畜水産業の担い手の確保・育成

- 若手就業者のネットワーク化と技術力・経営力の向上を推進し、後継者を育成
- 就労や社会参加の支援、担い手の確保につながる農福連携を推進
- 外国人就労者の受入体制を構築

(3) 農林畜水産業の高付加価値化

- 食文化を活かした複合リゾート施設を誘致
- 食文化を活かした新商品開発等により、「県南フードバレー構想ステージ2」を展開
- フードテック・アグリテック振興プロジェクトを進展
- 食の高付加価値化に向けた様々な実証実験を支援
- 輸出拡大に向けて、戦略的な産地ブランド化や販路拡大の取組を支援
- 米及び米粉の消費拡大
- 新たな価値を創造するオールラウンドな林産業を育成
- ブランド化を強力に推進し、畜産酪農業を高付加価値化
- 赤潮対策を展開し、養殖業を底上げ
- 熊本の酒のブランド化を支援し、海外への輸出展開
- いぐさ・畳表の高品質化・ブランド化により、い業の安定経営を支援
- 販売拠点やレストラン等の設置を支援
- 物流2024問題に対応
- 物価高騰対策

担い手対策の支援強化

熊本県における外国人労働者数

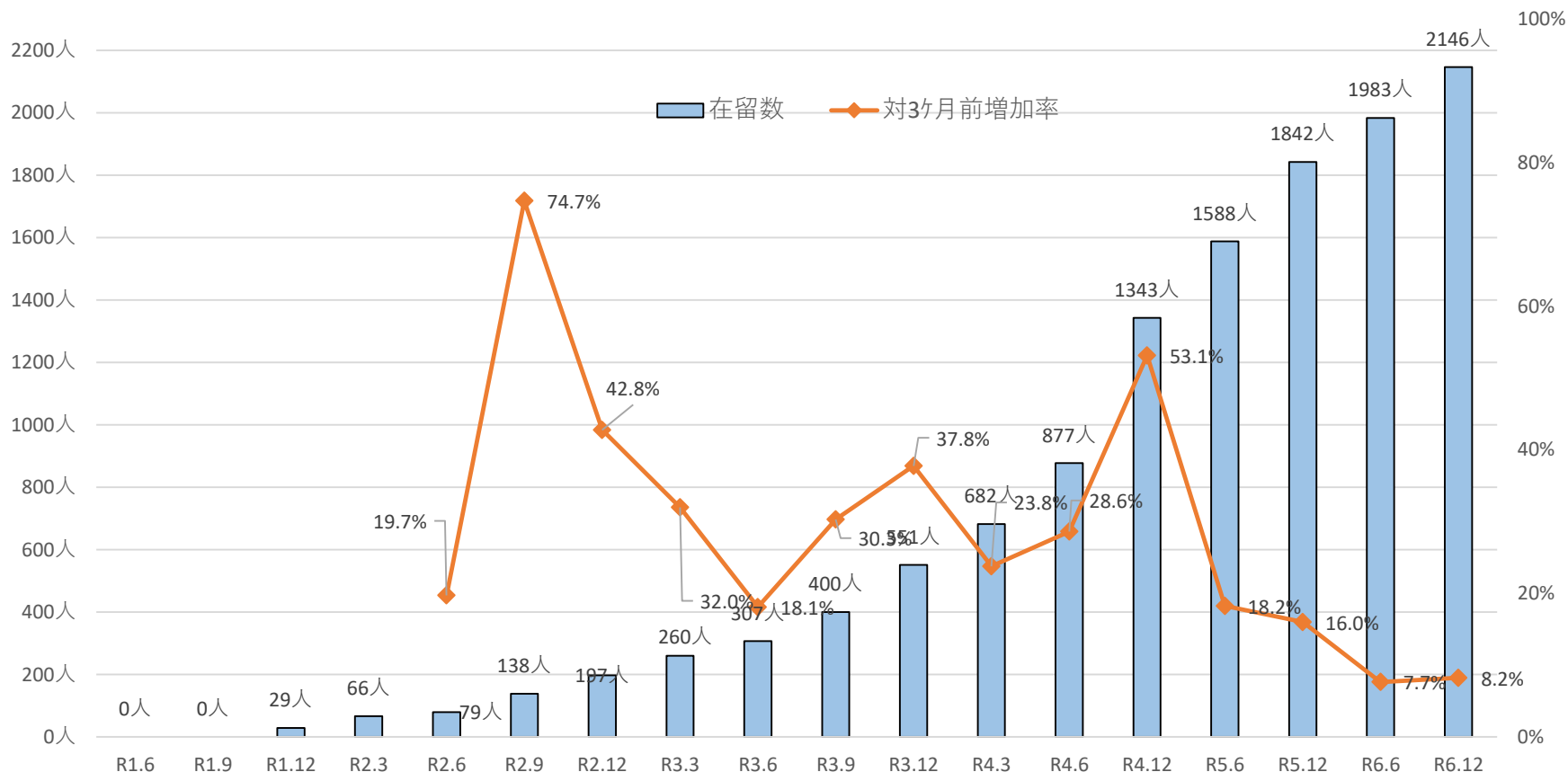
熊本県における外国人労働者数の推移（各年10月末現在）



熊本県労働局「外国人雇用状況」の届出状況集計結果（H26～R3年度）を基に作成

熊本県における特定技能外国人数（農業）

農業分野の特定技能在留外国人数の推移（県内）



熊本県における外国人材支援について

外国人材の確保

産地間の調整等による特定技能外国人材確保の支援 (民間団体等)

R3~6

●産地間連携を生産現場へ拡大

これまでにJA(選果作業)で産地間連携を実証

中山間地JA(選果場) ↔ 平地地JA(選果場)

令和5年度からは法人(農作業)へ拡大し実証

A法人(生産現場) ↔ B農業法人(生産現場)
JA(選果場) ↔

○産地間連携の取組み内容

A産地(法人)の受入機関

【メリット】

- ・繁忙期の人手不足の解消
- ・即戦力となる人材の確保
- ・周年作業の確保が可能

B産地(法人)

【課題】

- ・居住施設の準備、確保が困難
- ・他産地で働く期間の空室となる住宅の賃料
- ・交通費の負担
- ・他地域での生活(住民)に溶込む支援が必要
- ・労務契約に係る法的な課題の整理が必要

【事業内容】

- ①繁閑期の異なる他産地との調整による特定技能外国人の就労環境確保に係る支援

- ・他産地の居住施設確保に係る費用補助
- ・他産地で就労している期間に空室となる住宅の賃料、または交通費

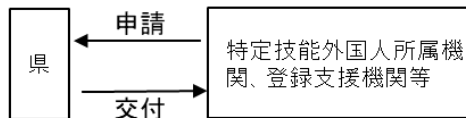
- ②他産地で行う日本語学習、地域交流支援

- ・日本語学習に係る教材費
- ・地域交流イベント参加に係る費用

- ③その他の支援

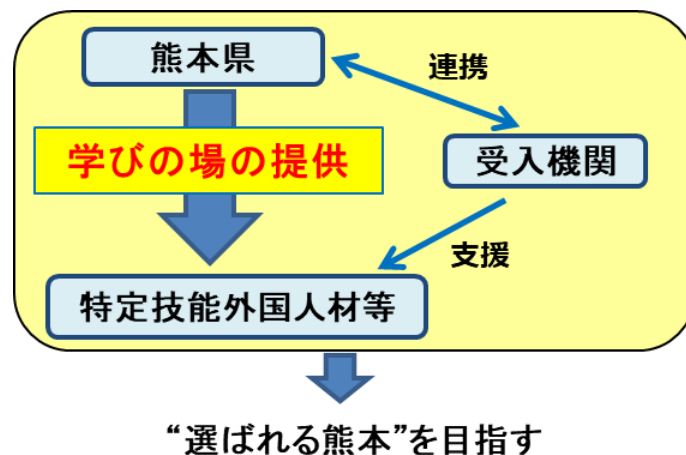
- ・課題整理、解決に向けた検討・情報交換

【事業イメージ】



くまもととつながる農業外国人材育成事業

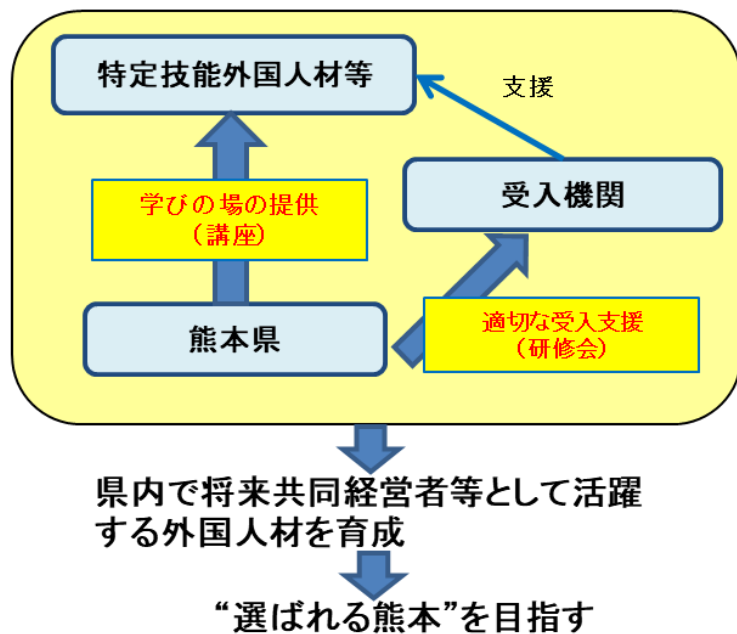
＜目的＞雇い手（農家）と働き手（外国人材）の両者が“WIN-WIN”の関係となる仕組みの構築



農業外国人材確保・育成事業

＜目的＞雇い手（農家）と働き手（外国人材）の両者が“WIN-WIN”の関係となる仕組みの構築

＜概要＞農業の技術と知識向上のための学びの場として、カンボジア等の4か国からの外国人材を対象としたスキルアップ講座や特定技能2号試験対策講座を開催。併せて受入れ農家向けの研修会を開催し、適切な受入れを支援。



R5 スキルアップ講座実績

講座数…5日間（4講座×5日：計20講座程度）実施

参加人数…第1回カンボジア44人、第2回ベトナム9人、
第3回カンボジア48人、第4回ベトナム3人、
第5回カンボジア16名 【合計120名】

対象地域…阿蘇地域、鹿本地域、宇城地域、八代地域

講座内容…熊本の農業と熊本の魅力、未来の農業、デジタル農業
高度人材講話、熊本の歴史文化体験、農業体験実習



R6 スキルアップ等講座実績

講座数…スキルアップ講座4回、特定技能2号対策講座4回、
受入れ農家向け研修1回実施

参加人数…スキルアップ講座合計120名、特定技能2号 対策講座33名、
受入れ農家向け研修35名

対象地域…阿蘇、鹿本、宇城、八代、玉名

講座内容…熊本の農業と流通、スマート農業、熊本の食の魅力、
高度人材講話、熊本の歴史文化体験、農業体験実習

R7 実施方針

＜実施内容＞

- ①外国人材に対し、熊本の農業・文化を学ぶ講座（4～5回）を開催
- ②「特定技能2号試験」の試験対策講座（4回～5回）を開催
- ③受入れ機関向け研修会（1回）の開催

